



おおみや トピックス



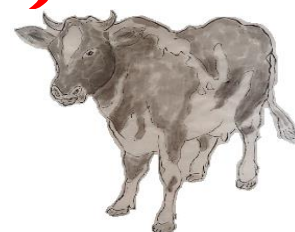
市 HP 内掲載記事へ

大宮町の人口

年齢	R2. 11 末 (前月比)
0 歳～14 歳	1,303 人 (+5)
15 歳～64 歳	5,767 人 (0)
65 歳～	3,051 人 (+9)
合計	10,121 人 (+14)



あけましておめでとうございます 今年もよろしくおねがいます



丑年は十二支の 2 番目で、
子年に蒔いた種が芽を出して成長する年と言われています。
皆さまにとって良い年になりますように

※善王寺公民館にて撮影した門松 (左)、牛の描画 (右)

京丹後市長へ提言書の提出

12 月 15 日、大宮町区長協議会から中山市長に提言書を提出しました。提出後、同協議会川口会長から市長に直接内容について説明を行い、提案の実現に向けて意見交換を行いました。

提言内容

1. 多様化した敬老事業に対する支援
各地区等が創意工夫を凝らした事業の実施が可能となる様、敬老事業補助金の交付金化を提案
 2. 地域防犯対策に対する支援
各地区等が設置の防犯カメラに対する補助制度の確立
 3. 自然災害への備え
現在避難所の設置が困難となっている公民館の土砂災害警戒区域指定の解消工事の実施とコロナ禍における避難所運営に係る有効な施策、支援の実施
 4. 京丹後市大宮町地域会議 (仮称) の事務局設置に向けた支援
 5. 京丹後大宮 IC のフルインター化
- * その他 6 項目を提言しました



会長から市長へ (上)

同協議会役員と市長で記念撮影 (下)

五十河カレンダープロジェクト

『2021 年カレンダー “五十河の風景”』が完成しました。五十河地域でのカレンダー制作は平成 30 年度に続く 2 回目で、今回は同地域 5 地区の各地区公民館と五十河区長会、さらに同地域で地域おこし協力隊として活動している中川圭隊員が協力し作成されました。

「五十河地域の美しい風景を少しでも多くの方々と共有したい、またカレンダーとして形に残せたら」との思いでプロジェクトが立ち上がりました。完成したカレンダーには、地域住民より公募によって集められた 18 枚の写真が掲載されており、昨年 12 月に五十河地域の各戸に配布されました。

なお、五十河区にある小町公園事務所及びそば処歌仙ではこのカレンダーの販売を行っていただけますので興味のある方は一度訪れてみてください。



営業時間

小町公園 : 9 時～16 時 (水曜休館)

そば処歌仙 : 11 時～15 時 (日曜のみ)

頑張ってます！三重と森本！！

『ゲンゴロウ郷の米』

龍谷大学で販売

三重・森本地域では、龍谷大学政策学部と連携し「生物多様性を活かした米作りプロジェクト」に取り組んでおられます。その一環として、今年度収穫した『ゲンゴロウ郷の米』を、同大学の教職員向けに受注販売を行う取り組みが行われました。この取り組みは同プロジェクトに参加している学生が提案したもので、『ゲンゴロウ郷の米』の認知度向上を図ることを目的とした取り組みです。コロナ禍で同地域を訪問することが難しい状況で、学生にとって身近な存在である教職員へ案内



商品搬入時の1枚

感謝。里の公共員

活動報告会 開催

12月10日、三重・森本地域で京都府「※¹里の公共員」として活動されていた吉岡大公共員が、12月末での任期満了に伴い、地域住民に向けた活動報告会が開催されました。

吉岡公共員は平成30年1月に同地域に配置され、主に移住促進協議会、まんぐるわ三重・森本の活動を支援されています。報告会では、3年間の取り組み内容と、同地域における現状課題、今後の活動に対する助言がなされました。参加されたまんぐるわ三重・森本の代表田崎由美子さんは「3年前はメンバーの半数がガラケーを使っていたが、今は全員がスマホを使っている。吉岡公共員のおかげ

でまんぐるわはとても成長させてもらった。」と話していました。また、吉岡公共員も制作に参加した、まんぐるわ三重・森本の紹介チラシが初めて披露されました。

※¹里の公共員とは
京都府の非常勤職員で、地域の農山漁村再生活動を支援する人材



参加者で記念写真



今回お披露目されたチラシ（表紙）

やすだ だいき 安田 大輝さん

輝く人～大宮町から～

大宮町善王寺地区出身、東京都在住、平成8年生まれの24歳。元々京丹後が好きで、「東京丹後人会」という組織に参加。大学在学中には市に政策提言をしたことも。京丹後を愛する市外在住の地元出身者に地元の食材を毎月配送するサービス「丹後グルメ便」を提案。目指すは「丹後の外部と内部の交流」。



提案したサービス内容について

①『丹後グルメ便』について
SNSを通してサービスを利用することができ、「京丹後の食材を毎月配送する」サービスです。オンライン上でバーチャル京丹後市を設置することで、丹後内部と外部の繋がりを目指しています。
②丹後のリノベ古民家『みんなの秘密基地』（仮）古民家をリノベーションし、帰省する際にみんなで集まれる「集場所かつイベントスペース」として活用します。また普段は丹後在住者の交流スペースとしての活用を目指しています。

地域に還元されること

関係人口の増加、京丹後のブランディングがされるサービス・事業になると考えています。京丹後に関わる人が増え、さらに自分たちで楽しい空間をつくることで「京丹後って良い街だ」という思いが増えていきます。私はU・イーターンだけが地域創生のゴールだと考えていません。将来住む街、週末遊びに行く街など、「京丹後」が多くの選択肢になっと思っています。

最後に

活動当初は「過疎地を助ける」という気持ちで参加していましたが、現在は「京丹後が面白そうなの」として参加から乗らないと損だ！」と思っています。この気持ちの変化は、京丹後の内部を知る機会が増えたからだと感じます。もっと多くの地元出身者が、京丹後を離れて薄れてしまった繋がりを、サービスなどを通して濃い繋がりに戻せるきっかけにしたいと考えています。

問い合わせ先

Mail : ysd.0000.dd@gmail.com
Facebook: 安田大輝